

診療情報閲覧に関するお知らせ

『研究課題名 SGLT2 阻害薬における腎機能別の臨床効果と腎保護作用に関連する因子の検討』

【研究の背景および目的】

フォシーガ(ダパグリフロジン)は、腎臓の近位尿細管にある SGLT2 を選択的に阻害することで、尿細管における糖再吸収抑制及び尿糖排泄を促進させ、血糖低下作用を示す薬剤です。加えて、本来の血糖低下作用以外に体重減少、脂質代謝、肝機能、腎機能にも有益な作用を示すことが報告され、従来の糖尿病治療薬とは異なる臨床的有用性を有する可能性が示唆されています。しかしながら、フォシーガ(ダパグリフロジン)は、尿糖排泄を促進させ、血糖低下作用を示す薬剤であるため、腎機能が低下した患者では尿糖排泄量が低下し、血糖改善効果が減弱する可能性が示唆されています。

そこで、本研究では、CKD 分類の腎症Ⅰ期～Ⅲ期の患者を対象として、腎保護作用に関連する因子を明らかにし、腎症別にフォシーガ(ダパグリフロジン)の有効性を確認することで、十分な効果を得るための適切な患者について検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後の糖尿病に対する治療戦略を考える上で有用な情報となることが期待されます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象は、2014年4月～2018年10月までに東邦大学医療センター大森病院で、糖尿病においてフォシーガ(ダパグリフロジン)を投与された方を対象とします。

方法は、対象となる患者さんの診療録から、決められた調査項目を過去の診療データのみから収集し、評価します。

今回の研究で得られた成果を、医学または薬学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡ください。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院薬剤部
職位・氏名 主任・西村 功史
電話 03-3762-4151 内線 3494